

エコバス路線・ダイヤ等の見直しについて

1. 経 緯

エコバスのルートやダイヤ等については、5年を目途に必要な応じ見直しを行うこととしており、昨年6月に策定した「恵庭市地域公共交通計画」においても、今年度見直しを実施することとしている。

本年6月に開催した「恵庭市地域公共交通活性化協議会」（以下、協議会）において、見直しの方向性について検討するとともに、協議会内に地域の関係者や運行会社などで構成する「エコバス路線検討分科会」（以下、分科会）を立ち上げ、協議を開始した。

「分科会」において取りまとめた見直し案について、「協議会」において協議し、見直し内容を決定したところである。

2. 見直し内容

平成31年度の再編以降に「市に寄せられた様々な利用者の声」や「市への要望書」、「市民や学生等へのアンケート調査結果」、「各バス停の利用状況などのOD調査結果」などにより把握した利用者ニーズに加え、「まちの開発状況」や「運行体制の課題」などを考慮し、ルート・ダイヤ等の見直しを行った。

（1）既存路線のルート・ダイヤ等の見直しについて

①運行体制の課題への対応

- 課 題： 運転手の人材不足による運航体制の維持、運転手の負担軽減
- 対応策： 恵庭駅での休憩15分を確保し、持続可能な公共交通の確保を図る

②路線とダイヤの見直し

- 課 題： 分かりやすい路線とダイヤ設定への対応
- 対応策： ・円循環を維持する
・運転手の休憩確保やエコバスの持続性・利便性を優先し、パターンダイヤにはこだわらず、無理のないダイヤ設定を行う
- ダイヤ： 始発・終発の時刻は現状からの大幅な変更はなく、平日朝の通勤・通学の時間帯は7時15分までにJR恵庭駅・恵み野駅・島松駅に到着するよう接続性を確保し、1周を2時間7分で運行する

③バス停の新設

- コメリパワー恵庭店の出店への対応
→既存ルート上にバス停を新設する
- 地域からの要望や郷土資料館利用者への対応
→既存ルート上（恵み野東5丁目付近）にバス停を新設する

(2) 新規路線の開設について

バス停の設置や増便の要望が多いが、現状の体制や資源で、運行事業者の要望を踏まえながら既存路線を増便することは困難であることから、既存路線の見直しとは別に新規路線を開設する。

①新規路線運行ルート

既存路線の内側を基本としたルート設定とし、各ＪＲ駅間の移動時間を短縮する

※別添資料参照

②乗り換え

各ＪＲ駅で既存路線との乗り換えを可能にする

③ダイヤ

始発、終発の時間や通勤・通学時のＪＲとの接続性を既存路線に合わせた時間に設定し、1周を1時間17分で運行する

(3) 便数について

既存路線と新規路線を合わせた総便数は、平日は21便増の71便、休日も21便増の48便と増便する

<これまでの協議状況>

時 期		内 容
令和6年	6月24日	第1回協議会 ・見直しの方向性について検討 ・分科会の立ち上げ
	10月 4日	第1回分科会 見直し案の検討、とりまとめ
	10月23日	第2回協議会 ルート等の見直し案について協議・承認
	12月25日	第2回分科会 ダイヤ等の見直し案、新規路線ルート等について協議
令和7年	1月20日	第3回分科会 既存路線・新規路線のルート・ダイヤ等の協議、とりまとめ
	1月30日	第3回協議会 既存路線・新規路線のルート・ダイヤ等の協議・承認

3. 今後のスケジュール

時 期		内 容
令和7年	3月～6月	試行に向けた準備 バス停位置の調整、諸申請、関係機関や住民との調整等
	7月～	試行開始（予定）